

望月俊孝氏を訪ねて



若いうちに未来に対する投資を惜しまなかったことは、今になってもしみじみよかったと思います。人生の先輩に教えを乞うのは、20代30代の特権です。セミナーに参加すると、一番前の席でメモを取ったりうなずいたりしていました。セミナーを主催するような人は、若い人に伝えたいという思いも強いですから、熱心に参加していた僕は、とても歓迎されました。

学ぶことが楽しくてしょうがなかったですね。得た知識をちよつと生かしてみると、変化を実感できる。その喜びはお金にも替えがたいものです。

1991年には、思い切って夫婦で800万円の借金をして、カウンセラーの資格取得のため、決死の覚悟でハワイに行きました。もちろん不安はありましたが、800万円を超える価値は十分にあったと思います。

本田 そのハワイでの経験は、確かに望月さんの今の活動を支える部分をつくったように感じられます。学びに貪欲になれば、リターンも大きいということでしょうか。

望月 自分に戻ってくるリターンという意味でも大きいですし、たかさんの人に還元できるという意味でも

大きいでしょうね。それはハワイでの学びに関わらず、これまで自己投資してきたすべてのことについても同じです。

たとえば僕が1万円の自己投資で学んだことを、フェイスブックや書籍、講演などで千人の人に伝えられたら、そこからさらに広がって何十万人の人に学びを還元できるのです。そう考えれば、とんでもなく安い金額でその教えを生かせたということになり、レバレッジが効いていますよね。

本田 学びの元となるセミナーや本を選ぶ基準については、どう考えていますか？

望月 時代が変わっても、人の心や考え方は大きく変わるものではないと思っています。だから、内容が本質をついているかどうかを見極めたいです。

時流に合うものも必要かもしれませんが、それはタイミングを計らないと意味がありません。それよりもやはり、汎用性があることが大事だと思います。

本田さんは、まだ評価が定まっていない人や、いわゆる「時の人」については著作の中で触れないようにしておられますよね。100年後に本を読んだ時に、「そんな人いた

望月 俊孝 × 本田 健

の？」と読者がピンとこないようではないから、浮き沈みのない、たとえば松下幸之助さんのような人にしか言及しない。そういう観点も、面白いと思いました。

フォトリーディングで効率的に本を読む

本田 仕事から、情報収集は望月さんにとって重要な作業になっていると思いますが、どんなふうにインプットしていますか？

望月 僕はフォトリーディングという、本を10倍速く読めて内容の情報処理までできるスキルを身に付けています。速読の一種と考えていただければいいのですが、明確な目的を持ってページをめくるといいんです。「自分の役に立つか」というアンテナを立てて、そこにつかつたらしっかり読み込みます。

本は、闇雲に100冊読んで何も心に残らないよりも、1冊読んでそこから学びがある方がいいじゃないですか。フォトリーディングは、その1冊を見つけるための作業でもあります。重要なところにぶち当たるまでは、サッと流して読めばいいんですよ。1冊の中からひとつでも心に残って実践できることがあったら、それはすごいことだと思います。



望月俊孝

もちづき・としたか

ヴォルテックス有限会社代表。レイキ・ティーチャー。エネルギー・マスター提唱者。フォトリーディング・インストラクター。1957年山梨県生まれ。上智大学法学部卒業。自動車販売会社勤務を経て、能力開発や心理学について学ぶ。癒しの手法であるレイキを広め、夢を明確にして視覚化する「宝地図」を提唱。『幸せな宝地図であなたの夢がかなうきつと！ 今日から人生が変わる』（ゴマブックス）等、著書多数。

<http://www.takaramap.com/>

望月俊孝氏が 学びの積み重ねから 自分のものにしていった 情報収集と 知的生産術のコツ

レバレッジの効いた自己投資

本田 セミナーを頻繁に開催し、著作も多い望月さんは、たゆまぬ学びと学びの社会還元をくり返しておられます。サラリーマンで経済的に余裕のなかった時代から、自己投資を惜しまず学び続けるということは、なかなかできないことですね。

望月 確かに、お金もないのによく

やったと思います。ローンまで組んで自己投資していました。その代わり心に残る本や、セミナーなどですばらしい人にも出会える喜びを知りました。

不動産投資をしていた時期もありますが、やはり自己投資の方がずっと、ワクワクするお金の使い方でした。不動産では結局失敗しましたが、『悲しい投資』と、『楽しい投資』があることを実感しています。



望月氏の書斎。各本棚は「夢実現」、「健康」、「幸せ」、「マーケティング」で分類し、作者の50音順で整理。書斎のほかに、倉庫を2つ借りていて、蔵書はおよそ2万5000冊。保存性とどこでも読める利便性を考え、蔵書の中から4000冊ほどを業者に頼んで電子書籍化してもらっているところ

れるのでしょけれど、それはどんな方法で？

望月 感銘を受けた言葉や知識でも、読みっぱなしや聞きっぱなしにしておくと、9割くらいは忘れてしまいますからね。Gメールに入れておくとか、本ならアンダーラインを引いておいた部分をスタッフに清書入力してもらって小冊子をつくるとか、書いたものを雑然と壁に貼っておくとか、やはりいろいろな方法を取ります。

メールなどない頃は、単語帳に書いてポケットに入れておきました。時間があるときにいつでもパラパラ見ることができて、なかなかいい方法でした。

ただインプットと言っても、なんでも情報をストックしておけばいいわけではありません。旬でないものは捨てていく必要もあります。そのあたりの見極めも、同時にやっぴいかななくてはいいですね。

捨ててしまったものの中で、実は大事だったという情報もあります。でも不思議なことに、重要なものは後からでもくり返し何らかのかたちでインプットされてきます。

アウトプットのすべてが便利になりました。

望月 僕が最初に本を書いた時には、手書きで手が痛くなりました。ワープロを手に入れたときには、奇跡のように感じましたね。それが今はパソコンでReadとReadと、目的に合わせて使い分けできるツールが揃っています。

電子書籍も革命的ですよ。僕はいつでもどこでも本を読むので、いつも何冊も持ち歩いています。電子書籍ならかさばらなくていい。新しい機器が次々と出てきますが、使い方に詳しい友人に「どうやるの？」と聞きながら使っています。

インプットとアウトプットの関係

本田 集めた情報や知識をうまくアウトプットしていくことが、すなわち知的生産だと思うのですが、どうお考えですか？

望月 そうですね、僕の場合は本を執筆したり講演会をやらせていただいたりする機会があるので、それがアウトプットです。そういう機会がない人でも、今はフェイスブックなどを活用して、自分なりに考えをまとめて発信することができますね。それを読んだいろいろな人が、アイ

望月 俊孝 × 本田 健



①望月氏が提唱している「夢を実現へ導く“宝地図”」。望月氏の「夢」が写真や言葉で表現されている。②本田健より贈られたボールペン。大切に使用している

耳からインプットし情報機器を活用する

本田 それだけ本を読みながら、ほかの方法でも積極的に情報収集され

ただ、本を読むときには、著者の主張に対して従順な読み方をしなくてもいいですよ。書いてあることに對して、「自分だったらちがう」「本当かな？」といった自分なりの読み方をする方が、意味はあるのではないのでしょうか。

本田 フォトリーディングとまでいなくても、本を速く読むための具体的なコツはありますか？

望月 指さしながら読むことですね。人間の視線は、寄り道してしまふものなので、指さしすることでスムーズに文字を追えるようになります。

指さして読む前に、腹式呼吸を2〜3回して落ち着くと、集中力が高まって効果もすぐに感じられると思います。1分間で4000文字程度読むのが一般的ですが、10000文字くらいにはなるでしょう。

本田 望月さんの蔵書は2万冊以上もあって、蔵書用の倉庫をレンタルされているくらいですかね。普通に読んでいては、とても読み切れませんよね。

指さして読む前に、腹式呼吸を2〜3回して落ち着くと、集中力が高まって効果もすぐに感じられると思います。1分間で4000文字程度読むのが一般的ですが、10000文字くらいにはなるでしょう。

耳からインプットし情報機器を活用する

ただ、本を読むときには、著者の主張に対して従順な読み方をしなくてもいいですよ。書いてあることに對して、「自分だったらちがう」「本当かな？」といった自分なりの読み方をする方が、意味はあるのではないのでしょうか。

本田 フォトリーディングとまでいなくても、本を速く読むための具体的なコツはありますか？

望月 指さしながら読むことですね。人間の視線は、寄り道してしまふものなので、指さしすることでスムーズに文字を追えるようになります。

指さして読む前に、腹式呼吸を2〜3回して落ち着くと、集中力が高まって効果もすぐに感じられると思います。1分間で4000文字程度読むのが一般的ですが、10000文字くらいにはなるでしょう。

本田 望月さんの蔵書は2万冊以上もあって、蔵書用の倉庫をレンタルされているくらいですかね。普通に読んでいては、とても読み切れませんよね。

指さして読む前に、腹式呼吸を2〜3回して落ち着くと、集中力が高まって効果もすぐに感じられると思います。1分間で4000文字程度読むのが一般的ですが、10000文字くらいにはなるでしょう。



ハーマンミラーの椅子



①



②



③

①携帯タブレット端末 MEDIAS。
②宝箱型の小物入れ。③アフアメイションカード

知的自由人の究極の逸品

ハーマンミラーの椅子

望月さんがもう10年近くも愛用している椅子。あらゆる体型と姿勢に対応した、グローバルスタンダードデザインである。望月さんはとくに、角度など細かい微調整ができることが気に入っている。また、背の部分と座面にメッシュ

素材が採用されており、通気性がよいので長時間座っていられることも手放せない理由。

携帯タブレット端末

MEDIAS

主に情報収集の際に大活躍！防水仕様なので、お風呂にも持つて入ることができる。さらにツイッターやフェイスブックの更新、

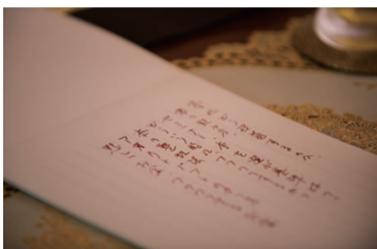
宝箱型の小物入れ

映画鑑賞にも活用している。望月さんにとっては、軽さが魅力。ズボンのお尻のポケットに入れて、どこにでも持ち歩ける。夢を明確にして視覚化する「宝地図」を提唱している望月さんらしいひと品。デスクの上に置いてあり、中には時計などを入れてある。

アフアメイションカード

アフアメイションとは、肯定的

な言葉を自分に対して宣言すること。目標達成や潜在能力開発に、強力的効果があると言われている。そして、肯定的宣言のための言葉が書かれているカードが、アフアメイションカード。使い方の決まりはとくにないが、望月さんはおみくじのように使ったり楽しんでる。言葉の力を感じるだけでなく、カードの美しさも魅力。望月さんご自身が作成した、アフアメイションカードを商品として提供した経験もある(写真③左)。



ディアを付け足してくれるので、ぜひ活用すると思います。仲間ができれば、異質なアイデアが入ってきてひらめきがある。それがソーシャルネットワークの面白さです。**本田** どんな情報をつかって、何をアウトプットしようかと考えることが、その人の知的生産を刺激することになりますね。**望月** 僕はアウトプットについて先に考えた方が、自然にインプットもできると思っています。もともとは自分のために自己投資をして、本やセミナーで情報や知識をインプットしてきました。それが今は、僕のセミナーに来てくれる受講生やスタッフに伝えるためにアウトプットすることを考えると、「セミナーで受講生のためになる知識だ」「スタッフの〇〇さんに知っておいてもらいたい情報だ」というように、インプットする視点ができてくるんですよ。**本田** それはそうですね。そのインプットとアウトプットの関係は、望月さんのように経営やセミナー主催をしている人でなくても、応用できるものですか？**望月** フェイスブックで発信するときに、ネットワークのメンバーのために何をアウトプットしようかと

いうのも、同じことです。サラリーマンでも、考えてみればアウトプットの機会は意外に多いですよ。僕が自動車会社に勤めていた頃、1ヶ月に1回、朝礼で3分間スピーチをしなければなりません。そろそろ自分の順番がまわってくると思えば、本を読んでネタ探しをはじめます。最初は苦しいけれど、だんだん慣れて、できるようになってくるものです。誰もが何かしらの知的生産をしているのですが、その質を高めるためにはインプットが大事ですね。

望月 俊孝 × 本田 健